

議長（志村 忠昭）

それでは、休憩前に引き続いて会議を再開いたします。

日程第10、議案第9号、平成27年度多度津町一般会計歳入歳出決算認定について、議案第10号、平成27年度多度津町特別会計国民健康保険歳入歳出決算認定について、議案第11号、平成27年度多度津町特別会計国民健康保険直営診療所歳入歳出決算認定について、議案第12号、平成27年度多度津町特別会計公共下水道歳入歳出決算認定について、議案第13号、平成27年度多度津町特別会計介護保険事業歳入歳出決算認定について、議案第14号、平成27年度多度津町特別会計後期高齢者医療歳入歳出決算認定について、提案説明の都合上、一括議題と致します。

提案者の提案理由の説明を求めます。

会計管理者、神原君。

会計管理者（神原 宏一）

おはようございます。

議案第9号から議案第14号までの6議案、一般会計及び、特別会計5会計の平成27年度歳入歳出決算認定につきまして、一括して提案説明を申し上げます。

平成27年度の各会計の歳入歳出決算につきましては、地方自治法第233条第2項の規定に基づき、町長より監査委員の監査に付し、去る8月30日に監査委員より、審査意見書の提出をいただきました。

その結果につきましては、先程代表監査委員からご報告をいただいたところでございます。

つきましては地方自治法第233条第3項の規定に基づき、議会の認定をお願いするものでございます。

それでは、平成27年度主要施策の成果に関する報告書により説明を申し上げます。

1ページから12ページにつきましては、一般会計及び特別会計の予算編成から予算の補正を経て、決算に至る経緯を記載しております。

説明につきましては、割愛をさせていただき、13ページからご説明をいたします。

まず、平成27年度一般会計の決算でございます。

下段の「一般会計決算総括表」をご覧ください。

繰越明許費を含めました最終予算額は、97億9,867万2,000円でしたが、これに対しまして、歳入総額は97億11万8,000円、前年度に比べ、13.5%、15億1,431万6,000円の減少でございます。

歳出総額は、90億3,118万1,000円、前年度に比べ、15.4%、16億4,594万8,000円の減少でございます。

この歳入歳出総額の減少は、平成26年度で、多度津中学校校舎及び屋内運動場の改築事業、消防庁舎移転改築事業が終了したこと等による投資的経費の減少、これに伴います町債、繰入金、国庫支出金等の減少が大きな要因でございます。

歳入総額から歳出総額を差し引きました形式収支は6億6,893万7,000円、形式収支から翌年度へ繰越すべき財源7,079万8,000円を差し引きました実質収支は、5億9,813万9,000円でございます。

実質収支から前年度の実質収支を差し引きました単年度収支は8,217万4,000円の黒字、さらに、単年度収支に財政調整基金への積み立て70万3,000円を加え、取り崩し4億5,000万円を減じました実質単年度収支は3億6,712万3,000円の赤字でございます。

次に、歳入でございます。

15ページ、「一般会計科目別歳入決算状況」をご覧ください。

歳入総額97億11万8,000円の科目別内訳でございます。

まず、町税は、29億8,972万8,000円で、前年度から1億8,369万4,000円、5.8%の減少でございます。

次に、前年度に比べ、歳入が大きく減少した科目でございますが、町債14億2,537万9,000円は、前年度から11億4,770万円、44.6%の減少、繰入金4億6,674万5,000円は、前年度から5億890万1,000円、52.2%の減少、国庫支出金9億1,852万8,000円は、前年度から2億4,281万円、20.9%の減少でございます。

一方、増加した科目でございますが、地方交付税18億2,211万円は、前年度から2億9,706万2,000円、19.5%の増加、地方消費税交付金4億5,681万3,000円は、前年度から1億9,239万9,000円、72.8%の増加、諸収入2億8,862万4,000円は、前年度から1億1,174万2,000円、63.2%の増加でございます。

また、歳入に占める構成比が高い科目は、町税が30.8%、地方交付税が18.8%、町債が14.7%、国庫支出金が9.5%などでございます。

次に、町独自で収入することができる「自主財源」と国・県の意思に依存する「依存財源」の割合でございますが、自主財源が44.6%、43億2,175万3,000円、依存財源が55.4%、53億7,836万5,000円で、前年度に比べ、自主財源の割合が0.3ポイント上昇しております。

次に、歳出でございます。

17ページ、「一般会計目的別歳出決算状況」をご覧ください。

歳出総額90億3,118万1,000円の目的別内訳でございます。

このうち、歳出に占める構成比が最も高い科目は、民生費で、31.1%、28億937万2,000円、前年度から3.5%の増加、次に、教育費が15.1%、13億6,639万4,000円、前年度から50.3%の減少、次に、総務費が14.2%、12億8,318万4,000円、前年度から2.8%の減少、以下、土木費10.6%、公債費10.4%の順でございます。

次に、18ページ、「一般会計性質別歳出決算状況」をご覧ください。

歳出を「義務的経費」、「その他の経費」、「投資的経費」の区分で比較いたしますと、まず、「義務的経費」は39億2,807万6,000円、構成比は43.5%でございます。

人件費、扶助費、公債費いずれも減少したことにより、前年度に比べ、1.7%、6,863万

5,000円の減少でございます。

「その他の経費」は34億9,455万7,000円、構成比は38.7%でございます。
補助費等、積立金、繰出金等の増加により、前年度に比べ、12.7%、3億9,289万9,000円の増加でございます。

「投資的経費」は16億854万8,000円、構成比は17.8%でございます。
大規模事業の減少により、前年度に比べ、55.1%、19億7,021万2,000円の減少でございます。

以上が一般会計の決算概要でございます。

次に、特別会計でございます。

「主要施策の成果に関する報告書」13ページをお願い致します。

「平成27年度会計別決算の状況」の特別会計の欄をご覧ください。

「特別会計国民健康保険」は、歳入決算額34億1,297万3,000円、前年度に比べ、15.6%の増加、歳出決算額32億71万7,000円、前年度に比べ、17.4%の増加で、実質収支は2億1,225万6,000円の黒字でございます。

「特別会計国民健康保険直営診療所」は、歳入決算額2,490万4,000円、前年度に比べ、0.2%の減少、歳出決算額2,221万2,000円、前年度に比べ、4.0%の減少で、実質収支は269万2,000円の黒字でございます。

「特別会計公共下水道」は、歳入決算額9億6,639万7,000円、前年度に比べ、11.2%の増加、歳出決算額9億3,666万1,000円、前年度に比べ、8.2%の増加で、実質収支は2,973万6,000円の黒字でございます。

「特別会計介護保険事業」は、歳入決算額21億3,494万4,000円、前年度に比べ、3.6%の増加、歳出決算額20億4,337万3,000円、前年度に比べ、0.4%の増加で、実質収支は9,157万1,000円の黒字でございます。

「特別会計後期高齢者医療」は、歳入決算額3億1,967万4,000円、前年度に比べ、2.8%の減少、歳出決算額3億1,264万円、前年度に比べ、3.3%の減少で、実質収支は703万4,000円の黒字でございます。

特別会計全体の実質収支は、3億4,328万9,000円の黒字でございます。

以上が、特別会計の決算概要でございます。

次に、「町債の状況」でございます。

「主要施策の成果に関する報告書」23ページをお願い致します。

一般会計の平成27年度末公債費現在高は、113億8,546万4,000円で、前年度に比べ、5.1%、5億7,936万6,000円の増加でございます。

特別会計公共下水道の平成27年度末公債費現在高は、80億4,509万5,000円で、前年度に比べ、3.5%、2億8,963万1,000円の減少でございます。

次に、25ページをお願い致します。

「地方消費税交付金（社会保障財源化分）の充当状況」は、平成27年度決算から新たに

設けた項目でございます。

消費税率の引き上げにより、地方消費税率も1%から1.7%に引き上げられ、その引き上げ分の用途につきましては社会保障に要する経費に限定されております。

その状況を示すもので、本町に交付されました地方消費税交付金4億5,681万3,000円のうち、1億9,797万1,000円が社会保障財源化分でございますが、社会保障施策に要する経費29億2,006万8,000円から特定財源を差し引きました一般財源16億9,997万2,000円に全額充当しているところでございます。

次に、別紙の差し込んである部分でございますが、その「12. 類似団体決算対比表」の裏面でございます。

下段の表に「平成27年度財政指標」がございますが、この中で、実質公債費比率は8.9%で、前年度の9.7%から0.8ポイントの低下、また、将来負担比率は131.4%で、前年度の123.3%から、8.1ポイントの上昇でございます。

次に、「財産に関する調書」について、説明を申し上げます。

平成27年度「歳入歳出決算書」の方をお願い致します。

401ページでございます。

まず、公有財産のうち、「土地及び建物」でございます。

「土地」は、合計で、決算年度中に3,933.62㎡減少し、決算年度末現在高は73万3,247.12㎡でございます。

内訳は、消防庁舎の改築によります公用財産消防施設2,655㎡の増加、普通財産その他6,588.62㎡の減少でございます。その他の減少分の内訳につきましては、土地の売却が4,909㎡、公用財産消防施設への用途変更が2,655㎡、合わせて7,564㎡の減少と、土地開発公社からの駅周辺用地の買い戻し分975.38㎡の増加でございます。

「建物」は、延面積の合計で、決算年度中に3,582.91㎡増加し、決算年度末現在高は9万3,912.65㎡でございます。

内訳につきましては、「非木造」のうち、公用財産消防施設が庁舎改築による1,722.86㎡の増加、公共用財産中学校は、新築による9,973.75㎡の増加分と旧校舎等の解体撤去による8,113.70㎡の減少分、この差し引き1,860.05㎡の増加でございます。

次に、403ページ、「動産」につきましては、フェリー接岸施設でございますが、決算年度中の増減はございません。

下段の「有価証券」につきましても、決算年度中の増減はございません。

次に、404ページ、「出資による権利」は、合計で、前年度末現在額3億7,141万7,000円から、決算年度中に「中讃ふるさと市町村圏基金」の廃止により、1億899万円減少し、決算年度末現在額は2億6,242万7,000円でございます。

次に、405ページから407ページまでの取得価格が100万円以上の「備品」でございます。

決算年度中の増減は、405ページの「無線装置1台」、「放送装置2台」、「粉碎機1

台」、406ページの「X線装置1台」、「除細動器1台」、407ページの「ふん尿車2台」の減少、「移動式マウンド」の増加でございます。

408ページ、50万円以上の「教材備品」、「美術品」につきましては、いずれも決算年度中の増減はございません。

409ページ、「基金」でございますが、合計で、前年度末現在高20億2,038万5,668円から決算年度中に5億2,088万3,473円を積み立て、4億6,132万6,706円を取り崩しました結果、5,955万6,767円増加し、決算年度末現在高は20億7,994万2,435円でございます。

決算年度中の増減額の内訳でございますが、「財政調整基金」は前年度の決算剰余金の一部3億円と運用利息分70万3,105円の積み立て、4億5,000万円の取り崩しでございます。

「奨学基金」は運用利息分11万3,589円の積み立て、奨学事業の貸付等に充てるため、456万8,400円の取り崩しでございます。

「減債基金」は運用利息分8,123円の積み立て、「地域福祉基金」は増減がございません。

「中山間ふるさと・水と土保全対策基金」は運用利息分4,341円の積み立て、「国保財政調整基金」は運用利息分12万2,816円と前年度繰越金の一部6,236万2,000円、合わせて6,248万4,816円の積み立て、「農業振興基金」は運用利息分9,727円の積み立て、258万3,789円の取り崩し、「介護保険財政調整基金」は運用利息分3万3,439円の積み立て、81万4,517円の取り崩し、「庁舎建設基金」は運用利息分2万4,224円と予算の補正による積立2,000万円、合わせて2,002万4,224円の積み立て、「健やかこども基金」は香川県からの補助金1,750万円と運用利息分2,109円、合わせて1,750万2,109円の積み立て、平成27年度事業の財源として336万円の取り崩し、「学校教育施設等整備基金」は平成27年度に創設した基金でございますが、「中讃ふるさと市町村圏基金」の廃止に伴う出資金の返還金等、1億2,000万円の積み立てでございます。

410ページをお願い致します。

「国民健康保険高額療養費貸付基金」は、決算年度中に5,000円の返還がございましたので、決算年度末現在額は、496万5,000円でございます。

411ページをお願い致します。

「債権」は、「公共下水道事業受益者負担金」が決算年度中に1,076万9,000円減少し、決算年度末現在額は154万5,000円でございます。

以上、議案第9号から議案第14号までの6議案、一般会計及び特別会計5会計の平成27年度歳入歳出決算認定につきまして、一括して提案説明を申し上げます。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。